CAT EYE ENDURO 2

CYCLOCOMPUTER
CC-ED200N
取扱説明書

ENDURO 2

U.S. Pat. Nos. 4633216/4642606/5236759/5226340 and Pat. Pending
Design Patented

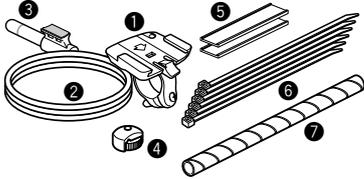
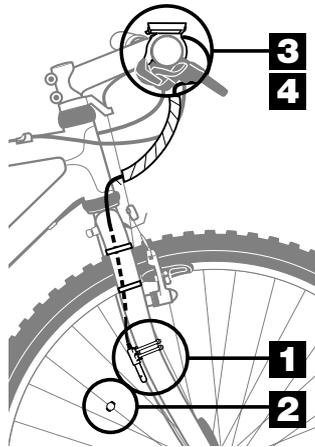
CE
CCMED2N-011119 Printed in Japan 066600091b 3

警告

- 走行中はコンピュータに気を取られないで、安全走行を心掛けてください。
- マグネット・センサー・ブラケットはしっかりと自転車に取付け、定期的にガタやネジの緩みが無いか点検してください。
- 使用済みの電池は誤って飲み込まないように管理し、定められた方法で処理してください。

注意

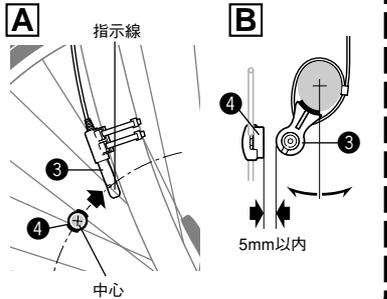
- 炎天下の放置は避けてください。またコンピュータは分解しないでください。
- コンピュータや附属品が汚れたら、薄い中性洗剤で湿らせた柔らかい布で拭いた後、から拭きしてください。シンナー、ベンジン、アルコール等は表面を傷めますので使わないでください。

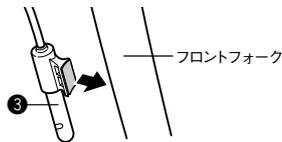
自転車への取付と準備

❶ ブラケット
❷ コード
❸ センサー
❹ マグネット
❺ ブラケットゴムパッド
❻ ナイロンタイ（5本）
❼ スパイラルチューブ

自転車へのパーツの取付け

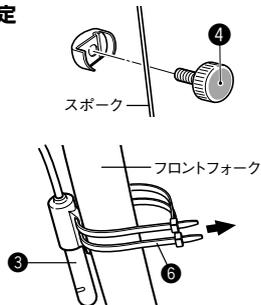
重 要

センサーとマグネットの取付けは次の条件を満たす位置に取付けてください。

前輪が回転したときマグネット❹の中心がセンサー❸の指示線を通過すること。

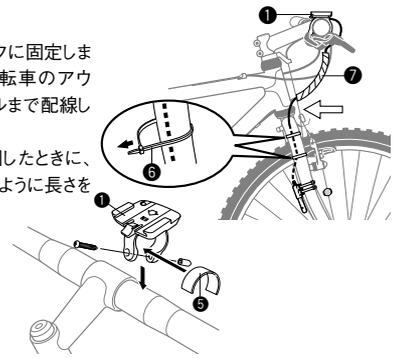
センサー❸とマグネット❹のすき間が5mm以内であること。

1 センサーを仮止めします

右側フロントフォークの内側にセンサー❸を粘着テープで軽く仮止めします。

2 マグネットと共にセンサー位置を調整し固定します

前輪右側のスポークにセンサーに対面するようにマグネット❹を固定します。
このときAとBの2つの取付け条件を満たすようにセンサーとマグネットの位置調整を行い、しっかりと固定します。
センサー❸は位置がズレないように注意してナイロンタイ❻でしっかり固定します。

3 ブラケットを取付けます

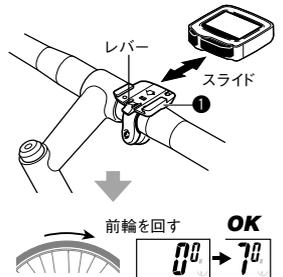
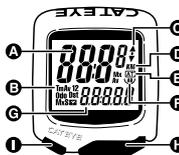
コードはナイロンタイ❻でフォークに固定します。スパイラルチューブ❼で自転車のアウターケーブルに添わせてハンドルまで配線します。

⚠注意 ⇦部分はハンドルを回したときに、コードが引っ張られないように長さを調整します。

ブラケット❶にゴムパッド❺をはめ、ハンドルにネジでしっかりと固定します。ハンドルとのがたつきはゴムパッド❺で調整します。

4 コンピュータの着脱

コンピュータを「カチッ」と音がするまで差し込みます。接点は自動的に接続されます。
外す時はレバーを押しながらスライドしてください。

テストをします
コンピュータをブラケット❶に取り付けます。
前輪を軽く回し、コンピュータに速度表示されるか確認します。
表示されない時はマグネット❹とセンサー❸の位置関係AとBを再度確認してください。

前輪を回す　OK

コンピュータの準備

A. 上段表示（主に走行速度）
B. モードマーク
C. ペースアロー
D. 計測単位
E. オートモードマーク
F. タイヤ周長マーク
G. 選択データ表示
H. MODEボタン
I. Sボタン
J. SETボタン
K. バッテリーカバー
L. 接点

使用する前にコンピュータの準備が必要です。
速度センサー・ホイールマグネット・ブラケットは前もって自転車へ取付を済ませてください。

参考 前に使用しているメーターの積算距離の数値を引継ぐ場合は最後の章「積算距離を手入力するには」をごらんください。

図1

1. まずタイヤの周長（外周の長さ）を求めます

車輪の外周長（Lcm）を路面を転がして直接測るか（図1）、簡易的にタイヤ周長ガイド（右表）から求めます。

2. オールクリア操作でコンピュータをクリアして計測単位をセットします

オールクリア操作
図2

MODEとST./STOP(S)ボタンを押しながらSETボタンを押す（オールクリア操作：図2）とコンピュータの記憶が全て消去され画面は全点灯の後、"K"の点灯に変わります。MODEボタンを押すと"K"と"M"が交互に切替わります（図3）。希望の計測単位を選び、ST./STOP(S)ボタンを押すと単位が確定され次の表示に変わります。

K(km)＝キロメートル
M(mile)＝マイル
図3

3. タイヤの周長をセットします

まず210（700×23Cタイヤの標準的周長cm）が現れます（図4）。この数字を「**1.**」で求めた周長の数字に変更します。MODEボタンを押すと数字が増加し、ST./STOP(S)ボタンを押すと減少します。どちらのボタンも押し続けると早送りします。数字を合わせたらSETボタンを押して確定します。これで計測する準備は整いました。

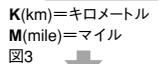
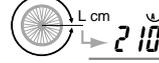



図4

セット範囲：
100cm～300cm

準備完了

タイヤ周長ガイド

タイヤサイズ	L(cm)
12 x1.75	94
14 x 1.50	102
14 x 1.75	106
16 x 1.50	119
16 x 1.75	120
18 x 1.50	134
18 x 1.75	135
20 x 1.75	152
20 x 1-3/8	162
22 x 1-3/8	177
22 x 1-1/2	179
24 x 1	175
24 x 3/4Tubular	178
24 x 1-1/8	179
24 x 1-1/4	191
24 x 1.75	189
24 x 2.00	192
24 x 2.125	196
26 x 7/8	192
26 x 1(59)	191
26 x 1(65)	195
26 x 1.25	195
26 x 1-1/8	190
26 x 1-3/8	207
26 x 1-1/2	210
26 x 1.40	200
26 x 1.50	201
26 x 1.75	202
26 x 1.95	**205**
26 x 2.00	206
26 x 2.10	207
26 x 2.125	207
26 x 2.35	208
26 x 3.00	217
27 x 1	215
27 x 1-1/8	216
27 x 1-1/4	216
27 x 1-3/8	217
650 x 35A	209
650 x 38A	212
650 x 38B	211
700 x 18C	207
700 x 19C	208
700 x 20C	209
700 x 23C	**210**
700 x 25C	211
700 x 28C	214
700 x 30C	217
700 x 32C	216
700C Tubular	213
700 x 35C	217
700 x 38C	218
700 x 40C	220

図5

時計の時刻設定

時刻を設定するには、コンピュータを計測停止にして計測単位（KまたはM）が点滅していない状態で行います（図5）。
時間は計測単位にK（キロメートル）を選択した場合は24時間表示、M（マイル）を選択した場合は12時間表示で設定します。

1. 走行時間(Tm)でMODEボタンを押し続けると時計マークが表示されます。
2. SETボタンを押すと「時」が点滅します。MODEボタンは数字を変更し、ST./STOP(S)ボタンは「時」と「分」を切替えます。
3. 時刻を合わせSETボタンを押すと確定します。

コンピュータの操作

メインモード　サブモード

Tm 走行時間 0.00.00～9.59.59

時計 0:00'～23:59' [1:00'～12:59']

走行速度（上段表示） 0.0(4.0)～105 km/h [0.0(3.0)～65 mph]

ペースアロー 走行速度が平均速度より速いか遅いかを示します。 速い 遅い

Av 平均速度 0.0～105 km/h [0.0～65 mph] 291時間または34359 km[mile]まで計測可能

Mx 最高速度 0.0(4.0)～105 km/h [0.0(3.0)～65 mph]

MODEボタン 2秒間長押し

MODEボタン 普通押し

Dst1 走行距離1 0.00～999.99 km[mile]

Dst2 走行距離2 0.00～999.99 km[mile] リセット DST2のみ単独リセット

Odo 積算距離 0.0～9999.9/ 10000～99999 km[mile]

図6

図7

表示データの切替え

MODEボタンを押すと画面に表示されるデータが図6のように切替ります。普通に押すと次のメインモードに替わり、2秒以上押し続けるとサブモードに切替ります。サブモードからメインモードに戻るには普通に押します。

図8

計測のスタート／ストップ

ST./STOP(S)ボタンを押す（図8）と走行時間、平均速度、走行距離1・2の計測をスタートし、もう一度押すとストップします。ボタンを押す毎にスタートとストップを繰り返し、計測中は計測単位（KまたはM）が点滅します。

走行距離1/2・走行時間・平均速度の時
図9

オートモード（自動計測）

走行時間、平均速度、走行距離1・2を自動で計測するようにセットできます。これをオートモードと呼びコンピュータがセンサーで自転車の動きを検知して自動的に計測のスタートとストップを行います。（オートモードをセットするとST./STOP(S)ボタンで計測のスタートやストップはできません）

オートモードをオンにするには走行距離1または2・走行時間・平均速度のいずれかの表示にして、裏面のSETボタンを押してください（図9）。ATマークが画面にあらわれオートモードであることを知らせます。同じ操作でオートモードをオフに出来ます。

2秒間
図10

走行時間、平均速度、最高速度を上段に表示させる

走行時間、平均速度、最高速度は上段に表示させ大きく見ることが出来ます（図10）。

オートモード（AT）にセットされているときは、切替えたい表示モードを表示してST./STOP(S)ボタンを押すと切替ります。同じ操作でもとに戻ります。

オートモードでないときはST./STOP(S)ボタンを2秒間押し続けると切替ります。

1秒間
同時押し
図11

走行距離1、走行時間、最高速度、平均速度のリセット リセット

Odo,Dst2表示以外の時、MODEボタンとST./STOP(S)ボタンを同時に1秒間押し続けると、走行距離1・走行時間・最高速度・平均速度のデータをゼロに戻します（図11）。走行距離2はリセットされません。

走行距離2のリセット リセット

Dst2を表示してMODEボタンとST./STOP(S)ボタンを同時に1秒間押し続けると、走行距離2のデータだけをリセットします。

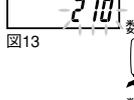
図12

タイヤ周長A・Bとタイヤ周長の変更

タイヤのサイズが違う2種類の自転車で使う時、簡単に切替えられるように、2つのタイヤ周長が設定できます。画面上のタイヤ周長マークでどちらの周長が設定されているかがわかります（図12）。

- 特に周長Bは低速走行用にプログラムしてあり、マウンテンバイクで使用する場合は周長Bで設定することをおすすめします。
- タイヤ周長AとBは積算距離（Odo）表示以外の時にSETボタンを押し続けると切替えられます（図12）。
  積算距離（Odo）表示でST./STOP(S)とMODEボタンを同時に押すと現在設定しているタイヤ周長の数値が確認できます。そのまま3秒以上押し続けるとSETボタンを使わずにタイヤ周長AとBを切替えることも出来ます。

1. タイヤ周長を変更するには、積算距離（Odo）表示で裏面にあるSETボタンを押してください（図13）。
2. タイヤ周長の数字が画面上で点滅します。MODEボタンは数字を増加させ、ST./STOP(S)ボタンは減少させます。
3. 設定したいタイヤ周長を表示して裏面のSETボタンを押します。

積算距離(Odo)　計測停止　裏側

数値を減少
図13

節電機能

約60～70分無信号状態が続くと表示だけの節電状態になります。MODEまたはST./STOP(S)ボタンのどちらかを押すか、走り出すと節電は解除され計測画面に戻ります。

メンテナンス

- コンピュータやブラケットの接点が濡れた場合、放置しないで良く水分を拭取ってください。サビが発生した場合、速度検出不良の原因となります。
- 押ボタンと本体の隙間に泥や小石がつまると、押ボタンが動きにくくなることがあります。水で軽く洗い流してください。

トラブルと処理

全く表示がでない。
　電池が消耗していませんか?
　新しい電池と交換し、オールクリア操作をしてください。

異常な表示がでる。
　オールクリア操作をしてください。（可能な場合はオールクリア操作の前にOdoデータを書き留め、オールクリア操作後に手入力します）

スピード表示がでない。（スピード表示が出ないとき、本体の接点を金属片で数回ショートさせます。表示されるとコンピュータは正常で、ブラケット／センサー側の問題と考えられます）
　センサーとマグネットの距離が離れすぎていませんか?
　センサー指示線とマグネットのセンターがずれていませんか?
　マグネットとセンサーの位置を調整し直してください。（間隔約5mm）
　コードが断線していませんか?　外観上異常がなくても断線している場合も考えられます。
　センサーコードセットを新しい物と交換してください。
　本体あるいはブラケットの接点に何か付いていませんか?
　接点を拭いてください。

図14

電池の交換

表示が薄くなってきたら電池の交換時期です。積算距離の計測を継続したいときは電池を取出す前に積算距離の数値をメモしてください。
- リチウム電池CR2032は十側が見えるように入れます（図14）。
- 交換後はオールクリア操作をして、各設定を行ってください。

図15

オールクリア操作

MODEとST./STOP(S)ボタンを押した状態でペン等でSETボタンを押すと（図15）すべての記憶（積算距離計測値、速度単位、タイヤ周長、時計）が消去され、距離単位選択表示になります。電池を交換した時や、静電気等による異常表示になった時に操作してください。

積算距離(Odo)を手入力するには

電池交換時のオールクリア操作で積算距離はゼロになりますが、数値を入力して今まで計測した積算距離を継続させることができます。（電池交換前に積算距離の数値を書き留めておきます）

1. オールクリア操作後、MODEボタンで計測単位を選んでからSETボタンを押さずにMODEボタンを押し続けます（図16）。
2. Odoと0000.0が表示されて0.1の桁が点滅します。MODEボタンで数字を入力し、ST./STOP(S)ボタンで桁を移動します。
   積算距離は万の桁まで入力できます。書き留めておいた数字を表示させて裏面のSETボタンを押すとタイヤ周長セットへ移動します。
3. 「コンピュータの準備3」に従いタイヤ周長を設定します。

積算距離　数値を増加　桁の移動
図16

製品仕様（キャットアイ エンデューロ2）

使用電池	リチウム電池 CR2032 x 1（電池寿命：約3年）
制御方式	4-bit 1-chip マイクロコンピュータ（水晶発振器）
表示方式	液晶表示
検知方式	無接触磁気センサー
タイヤ周長セット範囲	100cm～300cm
使用温度範囲	0°C～40°C（32°F～104°F））
センサーコード長	70cm
寸法・重量	46x39x17mm / 26 g

*あらかじめ装着されている電池はモニター用ですので電池寿命はこれより短くなることがあります。
*仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

製品保証について

2年保証：コンピュータのみ（付属品及び電池の消耗は除く）

正常な使用状態で万一故障した場合は無料で修理・交換いたします。保証書にお客様のお名前・ご住所・ご購入日・故障状態をご記入の上、製品と共に当社宛て直接お送りください。お送りいただく際の送料はお客様にてご負担願います。修理完了後、当社より郵送にてお届けさせていただきます。

［宛先］　株式会社キャットアイ　製品サービス課
〒546-0041　大阪市東住吉区桑津2丁目8番25号
TEL: (06)6719-6863ダイヤルイン　FAX: (06)6719-6033
ホームページ　http://www.cateye.co.jp
e-メール　support@cateye.co.jp

*アクセサリーパーツを別途販売していますのでご利用ください。

#169-9730N
ヘビーデューティワイヤ&ブラケットセンサーキット

#169-6560N [#169-6565N]
ブラケットセンサーキット [リアホイール用]

#169-6567 [#169-6562]
センターマウントブラケットキット [リアホイール用]

#169-6568
エアロバー用ブラケットセンサーキット

#169-6569
ステム用ブラケットセンサーキット

#169-9752
アタッチメントキット

#169-6280
ユニバーサルセンサーバンド

#169-9691
ホイールマグネット

#169-9760
コンポジットホイール用マグネット

#166-5150
リチウム電池 (CR2032)